

# 補助拡大 妊婦の健康診査料

胎児の発育や妊娠の経過をチェックするため、妊婦健康診査の受診をお勧めしています。  
市では、少しでも妊婦さんの負担を軽くするため、補助の回数を今までの2回から5回にしました。

三重県内の協力医療機関で妊婦健康診査を受診された方

いままで 2回〔前期・後期〕公費助成

10月1日から 2回の助成をさらに3回(1回上限5,000円)追加 【全部で5回の助成】

- 追加された3回分の助成は、県外で受診された場合も対象です。
- 病院の証明は必要ありません。
- 市の指定書類に記入して領収書を添付し、3回分まとめて申請できます。  
(申請がないと助成されませんのでご注意ください)

10月1日現在で妊娠届を出されている方には、案内をさせていただきましたが、転入等でお手元に助成券がない方は、健康推進課へご連絡ください。

☎大安庁舎 健康推進課 ☎78-3517 ☎78-1114

## 妊娠したかな？と思ったら…

お腹の中の赤ちゃんのために  
そしてお母さん自身のために早めの受診を

妊娠や出産は一人ひとり、毎回違うものです。「年齢が若いから」「前回の分娩が正常だったから」といって今回の妊娠・分娩がうまくいくという保障はありません。また、妊娠中の異常が早期に発見できないと重篤になり、お母さんや赤ちゃんの命の危険性が高まります。安心・安全な妊娠・出産のために、妊娠したかなと思ったら早めに産婦人科を受診し、妊娠していると分かったら直ちにかかりつけ医を持つことが大切です。



**飛び込み出産は危険です!** 約6割が29歳以下・6割以上が経産婦

「妊婦健診を受けていない」「分娩予約もしていない」妊婦が破水したり、陣痛が始まってから近くの産婦人科に飛び込んで出産したりすることを飛び込み出産といいます。飛び込み出産は、お母さんにとっても、赤ちゃんにとっても大変危険であることが分かっています。

飛び込み出産で生まれた赤ちゃんの状況

**死産**や生まれて**早い時期に死亡**する割合**12%** (普通出産の約**18倍**)

出生体重が2500g以下の**低体重児**である割合**35%** (普通出産の約**4倍**)

早産や出生後の状態が悪くて、**新生児集中治療室に入院**する赤ちゃんの割合**30%**

マスコミ報道などでもよく聞きますが、分娩を扱っている医療機関が少なくなっているため、救急隊でもすぐに入院・出産できる病院等が見つけれず、自宅や車中で出産することになりやすいのが現状です。お母さん自身と赤ちゃんの命を守るためにも、きちんと産婦人科で受診してください。

☎いなべ総合病院 ☎72-2000 ☎72-4051 / ☎大安庁舎 健康推進課 ☎78-3517 ☎78-1114